

## 指定管理者事業報告書（令和4年度末報告）

令和5年4月30日 提出

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施設名	三原市武道館		連絡先	0848-64-7555
指定管理者団体	団体名	株式会社サービスセンター		
	代表者名	代表取締役 伊達 護		
	所在地	三原市宮沖5-8-24		

### 1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
管理職員	2人 (1人)	1 人	清掃員	10人 (1人)	9 人			
受付事務員	5人 (1人)	4 人	事務補助員	3人 (3人)	0 人			
設備管理員	4人 (0人)	4 人						
常勤職員（合計）	18 人		非常勤職員 （合計）	6 人				

## 2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 $\alpha$	実績【年間実績】 $\beta$	達成率 $\beta \div \alpha$	自己 評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	令和4年4月1日～12月28日 令和5年1月4日～3月31日	令和4年4月1日～12月28日 令和5年1月4日～3月31日	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
開館日数(X)	359	359	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
開館時間	9:00～21:00	9:00～21:00	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
延べ利用者数 ( $Y=a+b$ )	25,100	32,511	129.5	A	A	良好である。
うち通常業務(a)	25,000	32,467	129.9	A	A	良好である。
うち自主事業(b)	100	44	44.0	B	B	計画を下回っている。 参加者数増に向けて、計画の見直しが必要である。
延べ利用日数(Z)	359	359	100.0	A	A	良好である。
稼働率 ( ② )	29.7	54.6	183.9	A	A	良好である。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式  $\frac{\text{利用者数}(Y)}{\text{開館日数}(X) \times \text{利用定員}(1\text{日あたり} \text{ 人})} \times 100$

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式  $\frac{\text{利用日数}(Z)}{\text{開館日数}(X)} \times 100$

※2 稼働率欄の( )内には、使用した計算式に①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
板面	400	20,000	37.1	740	25,333	68.7
畳面	200	4,000	18.6	305	3,643	28.3
全面	20	1,000	1.9	66	3,491	6.1
合計	620	25,000	29.7	1,111	32,467	54.6

※稼働率=利用可能件数÷利用件数

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日 ( 243 日 )			土日祝日 ( 116 日 )			通年 ( 359 日 )		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
板面	547	18,751	75.0	193	6,582	55.5	740	25,333	68.7
畳面	239	3,200	32.8	66	443	19.0	305	3,643	28.3
全面	25	972	3.4	41	2,519	11.8	66	3,491	6.1
合計	811	22,923	57.3	300	9,544	49.0	1,111	32,467	54.6

※稼働率=利用可能件数÷利用件数

### 3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価		
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容	
1 施設管理体制	職員配置	A	事業計画に沿った適正な人員配置を行っています。	A	適切に実施されている。	
	職員研修	A	年間業務計画に基づいた業務履行を実施しています。	A	適切に実施されている。	
	利用促進業務	A	HP、FMみはら、イベントカレンダー、広報みはらを通じて利用促進を行っています。	A	適切に実施されている。	
	設備・備品管理	A	三原市備品、自社備品を明確にすべくシール添付にて対応しています。	A	適切に実施されている。	
	現金管理	A	利用申請書等と現金を確認し適切な管理を行っています。	A	適切に実施されている。	
	安全体制管理	A	緊急連絡先、緊急対応マニュアルを用意し、適切な安全管理体制を構築しています。	A	適切に実施されている。	
	緊急時の対応	A	本社は1 Km以内にあり、責任者も500m以内に居住しており、有事の際は即時対応を可能としています。	A	適切に実施されている。	
2 利用者に関する業務	利用状況	A	利用率、利用人数ともに目標を超えています。	A	良好である。	
	利用料金の設定	A	条例に基づいた利用料金体制を確立しています。	A	適切に実施されている。	
	接客対応	A	利用される方の視点に立った接客対応を心掛けています。	A	適切に実施されている。	
	個人情報保護	A	終業時は施錠できる書類保管庫に個人情報書類を収納しています。	A	適切に実施されている。	
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A	年間業務計画に基づいた業務履行を実施しています。	A	適切に実施されている。	
	清掃等維持管理業務	A	年間業務計画に基づいた業務履行を実施しています。	A	適切に実施されている。	
4 実施事業	企画運営事業					
	自主事業	A	施設機能を活かした自主事業展開を模索してまいります。	B	計画された事業のうち、実施されていないものがある。	
	自主事業の内容	個人教室開講支援	B	コロナ禍においても問い合わせはあるため、今後も継続します。	B	実際の開講に繋がるように、支援していただきたい。
		サーキット運動	A	計画通りに実施しています。	A	良好である。
		ピラティス・アロママッサージ無料体験会	-	感染症対策のため、事業中止しました。	-	

#### 4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
<b>【収入】</b> 合計		2,600,000	3,421,059		<b>【収入】</b> 利用料金収入が計画を上回っており、評価できる。  <b>【支出】</b> 計画を上回る支出となっている。燃料費高騰による光熱費の増はやむを得ないが、その他の項目については経費削減に努めていただきたい。  <b>【収支】</b> 燃料費高騰のなか、黒字を確保しており、評価できる。
利用料金		1,500,000	2,414,650		
自主事業収入		100,000	6,400		
指定管理料		1,000,000	1,000,000		
その他		0	9		
<b>【支出】</b> 支出		2,600,000	2,990,752		
人件費		600,000	600,000		
	常勤	600,000	600,000		
	非常勤	0	0		
事務費		0	0		
	消耗品費	0	0		
	備品購入費	0	0		
事業費		1,038,800	935,236		
	通常業務	1,018,800	919,236	清掃業務	
	自主事業	20,000	16,000		
施設維持管理費		961,200	1,422,850		
	設備管理費	123,200	123,204	消防設備・防火対象物点検	
	保安警備費	198,000	198,000	機械警備	
	光熱水費	640,000	1,101,646	電気（水道含む）、ガス	
	修繕費	0	0		
その他		0	32,666		
	租税公課	0	32,666		
<b>【収 支】</b>		0	430,307		
支出のうち委託費		198,000	198,000		

## 5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
特にありませんでした。				

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

## 6 運営上の課題、市への要望等（ご自由にお書きください。）

内容	担当課回答
利用料金が高すぎるので、リージョンプラザ同様券売機利用とするか、料金を下げて欲しいとの要望がありました。	利用料金は、条例に定める額を上限として、指定管理者が市長の承認を得て定めることができるため、検討いただきたい。
利用者より、市営駐車場が併設されているのに2時間までしか無料にならないので、3時間まで無料時間を延長してほしいとの要望が複数件ありましたので、時間延長をご検討ください。	円一町駐車場の施設担当課へ要望があったことを伝える。
空調設備の運用温度を見直して欲しいとの要望がありました。	指定管理者の管理運営に関する事項であり、運用を検討いただきたい。

## 7 市担当課総合評価

- 1 利用者数は32,511人（前年度実績14,752人）となっており、計画を上回るとともに、前年度より大幅に増加している。引き続き、利用者数増に努めてほしい。
- 2 自主事業については、参加者数が計画を下回っている。武道館の施設の特性を活かした積極的な事業実施に取り組んでいただきたい。
- 3 施設の管理運営については、概ね適切に管理されている。
- 4 収支については、燃料費高騰の中、黒字を確保している。今後は収入増への取り組みを強めるとともに、適切な支出管理に努めていただきたい。